本文

オモテケイ
27囲む

本文8ポ3段

62

1

≪本になった宝石≫

13 | 8
21
21

私の宝物詩集

遠藤恒吉

私の、宝物と言うほどの詩集は、どれほどあるのだろうか。かなりの数になると思う。その詩集の名を一つ一つあげていては、それだけで与えられた原稿枚数になってしまう。

私は詩も書いているから、一応詩人ということになっている。でも、自分が詩人だと思ったことはない。詩を書いていて、詩人ではないと言うのは、卑怯なような気もするし、不遜だと思えなくもない。

私は現在、三つの詩誌に属していて、そのほかから詩をたのまれることはほとんどないから、私の所属する詩誌に毎号詩を発表するには、年間八つの詩ができればいいのに、それができない。年間五つしかできなくても、その詩がなんとか読んでもらえる詩なら、そ

21
163